

面河山岳博物館 2020 年度全国科学博物館活動等助成事業 実施内容報告書

令和 3 年 4 月 9 日

(1) 事業名

地域・博物館・動物園の連携による身近な哺乳類の展示

交付番号：20014

申請者：矢野真志（面河山岳博物館係長）

※〒791-1710 愛媛県上浮穴郡久万高原町若山 650 番地 1

電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

(2) 事業の目的

地域と博物館、動物園が哺乳類をテーマに展示交流やカンバッジラリーなどで繋がることで、身近な自然の面白さや博物館活動の意義を普及する。

(3) 事業の実施場所及び実施期間

実施場所：面河山岳博物館（展示、講座）、愛媛県立とべ動物園（展示、カンバッジラリー）、越知町立横倉山自然の森博物館（展示、カンバッジラリー）、高知みらい科学館（展示、カンバッジラリー）、わんぱーくこうちアニマルランド（展示、カンバッジラリー）、久万高原町内（講演会、移動展示ほか）

実施期間：令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日まで

(4) 事業の具体的実施内容

1. 愛媛と高知の博物館・動物園をつなぐカンバッジラリーと哺乳類ミニ展示の実施

面河山岳博物館では令和 2 年 10～11 月に、愛媛の哺乳類について興味深い生態や最新の知見等を紹介する特別展「けものがたり～愛媛の哺乳類おどろきの素顔～」を開催した。それに際し、哺乳類標本を展示できる複数の博物館・動物園と協同し、各館園を会場に四国の哺乳類を紹介するミニ展示を実施した。この取り組みでは博物館や動物園が標本を保存していることや、保全活動を行っていることなどを知ってもらうことも狙いとし、各館園に関わりのある哺乳類 1 種を「推しの哺乳類」に設定して、それに因んだ各館園でしか見ることができない標本や写真を展示物とした。また、各館園をより巡りやすくする仕組みとして「四国の哺乳類カンバッジラリー」を開催した。オリジナルの哺乳類トートバッグを参加証として各館園で販売し（限定 500 個）、それを持参すると「推しの哺乳類」をデザインしたオリジナルカンバッジを手に入れることができる。このように各館園でしか味わえない展示や配布物を設けることで、より多くの方が各施設を巡ることを後押しした。【写真 1-9】

期 間：令和 2 年 10 月 3 日（土）～令和 3 年 3 月 31 日（水）

※当初は令和 2 年 12 月 27 日（日）までの企画としてスタートしたが、感染症拡大により県を跨いだ移動が制限される時期があったため、その間を考慮して期間延長を行なった。

面河山岳博物館の特別展入場者数：合計 5,804 人（有料 4,307 人、無料 1,497 人）

哺乳類トートバッグ販売点数：500 点

2. 四国の哺乳類に関する講演会および体験イベントの実施

四国の哺乳類をテーマに講演会や体験イベントを実施し、哺乳類の生態や博物館・動物園の取り組みをより深く知ってもらう機会とした。講師は四国で活躍する動物写真家や哺乳類専門の学芸員、動物園スタッフに依頼した。

①特別講演会「四国の哺乳類を見つめて～カモシカ、アナグマの素顔に迫る～」【写真 10】

参加者数：37 名

○日時：10月16日（金）19:00～20:15 ○場所：久万高原町産業文化会館研修室

○講師：中西安男さん（動物写真家） ○参加費：200円

○内容：四国の自然の魅力と現状をニホンカモシカやアナグマなどの生態写真、観察記録とともに紹介した。四国全域で増えているニホンジカによる森林やニホンカモシカへの影響についても解説があり、身近な自然で密かに起きている変化を知ってもらうことができた。

②体験イベント「タヌキおじさんによるタヌキ講座」【写真 11】

参加者数：17 名

○日時：10月24日（土）13:00～15:00 ○場所：面河山岳博物館

○講師：谷地森秀二さん（越知町立横倉山自然の森博物館学芸員） ○参加費：200円

○内容：私たちに身近なタヌキについて、タヌキ研究者である学芸員が研究の方法やこれまでに分かっている研究成果などを解説。毛皮、骨格標本などを自由に触れる機会もあり、参加者が体験を通して楽しみながら学ぶことができた。

③体験イベント「ナイトミュージアム～夜の哺乳類の世界にようこそ～」【写真 12】

参加者数：17 名

○日時：11月6日（金）19:00～21:00 ○場所：面河山岳博物館

○講師：面河山岳博物館学芸員 ○参加費：200円

○内容：夜の博物館をナイトミュージアムとして特別開放した。剥製や動画を使った哺乳類の解説や観察、博物館周辺の散策によるニホンモモンガ探索なども行った。参加者は懐中電灯で展示物を照らし観察することで、まるで夜行性の哺乳類を見ているような体験ができた。

④特別講演会「あなたの知らない動物園のお仕事」【写真 13, 14】

参加者：36 名

○日時：11月20日（金）19:00～21:00 ○場所：久万高原町産業文化会館研修室

○講師：田村千明さん（愛媛県立とべ動物園ボランティアセンター長）

吉川貴臣さん（高知市立動物園わんぱくこうちアニマルランド学芸員）

○参加費：200円

○内容：現役の動物園スタッフによる動物園のお仕事の話。動物の飼育や管理だけではない仕事の裏側、様々な工夫を凝らした教育活動、四国の哺乳類の保全やケガをした動物たちの保護活動などについて、愛媛と高知の動物園の事例を紹介した。

3. 久万高原の哺乳類をテーマとした移動展示の開催

特別展「けものがたり」で扱った内容をコンパクトにして、久万高原町役場庁舎ロビーで移動展示を実施し、より多くの地元の方々に身近な哺乳類を知ってもらう機会とした。

【写真 15】

展示タイトル：久万高原の小型哺乳類～知ってるようで知らないネズミ・モグラの仲間～

期 間：令和 2 年 12 月 15 日～令和 3 年 3 月 10 日

場 所：久万高原町役場本庁ロビー

4. 愛媛の哺乳類の最新情報を紹介する冊子の発行

愛媛の哺乳類をテーマに、これまでに分かっている分布や人の暮らしとの関係などについて、最新の研究成果等を交えた解説冊子を発行した。特に獣害や外来種、絶滅危惧種、希少種についてページを多く割き、愛媛における明治以降の環境変化や人の暮らしの変化が野生動物に与えた影響について解説した。久万高原町内の小中学校及び高校、県内の博物館施設、国内の自然史研博物館に無償配布を行なった。【写真 16】

部 数：800 部

体 裁：A4 サイズ、24 ページ、フルカラー

備 考：今後の哺乳類関係のイベントの参加者に配布する参考資料として利用する。また、一般向けには当館ミュージアムショップにて 1 部 600 円で販売予定。

（５）新型コロナウイルス感染拡大への対応について

本助成事業は申請段階では、複数の博物館施設と久万高原町内の公共施設や飲食店等において『哺乳類のミニ展示』と、『図鑑形式の哺乳類スタンプ帳を使ったスタンプラリー』を実施することで、地域と文化施設が一体となった自然科学普及を進めることを狙いとしていた。しかし、令和 2 年 2 月以降の感染症拡大により、博物館施設や民間店舗に多くの利用者を循環させることや、スタンプラリーでのスタンプの共用が感染症対策を徹底する上で大きな課題となったため、大幅に助成事業の取り組み内容を変更せざるを得なくなった。

その結果、協力施設は主旨に賛同くださった愛媛と高知の 4 館園に絞ることとした。また、スタンプとスタンプ帳の代わりにカンバッジとそれを取り付けるトートバッグを利用したカンバッジラリーを開催し、参加者が当館を含めた 5 館園を巡るモチベーションを後押しした。

講演会や体験イベントでは参加定員数を会場の動員可能人数の半分に設定し、換気や消毒液等による感染症対策を徹底した状況で開催した。

（６）成果の総括と今後の展開

四国の哺乳類カンバッジラリーでは、参加証の代わりとなるトートバッグ 500 点が完売となった。最低 500 名の方に複数館園を巡って四国の哺乳類を学ぶ機会を提供できたことは、各館園の活動への理解を深める上で一定の波及効果があったと考えられる。コロナ禍において事業の方向転換や縮小を余儀なくされたが、博物館や動物園を繋がりの中で学びの場として機能させることができたのは、今後の連携体制をより強固なものにできる可能性を感じた。

特別展では 4,154 名の来館者が、講演会等イベントでは 107 名の参加者があり、愛媛や四国の哺乳類の実態や哺乳類研究に係わる施設の存在を広く普及することができた。これら事業のまとめとも言える冊子は、町内の小中学校、公共施設、県内外の博物館に無料配布し（約 400 部）、当館ミュージアムショップにて格安で販売することで、さらなる普及を目指す。今後も本事業で得られた館園同士の繋がりを活かし、哺乳類関連の事業を定期的に行なうことで、地域の自然史への興味喚起を図っていきたい。

事業写真一覧



写真 1. カンパジラリー用トートバッグ
とオリジナルカンパジ



写真 2. トートバッグのサイズ



写真 3. バッグの木製タグ
※各館園でバッジを渡す際にスタンプを押す。



写真 4. 特別展「けものがたり」の様子



写真 5. 面河山岳博物館の押し哺乳類展示(ニホンモモンガ)
※愛媛県唯一のニホンモモンガ骨格標本の展示



写真 6. 愛媛県立とべ動物園の押し哺乳類展示
(ニホンカワウソ)
※ニホンカワウソの胎児標本等を展示



写真 7. 越知町立横倉山自然の森博物館の押し哺乳類展示(タヌキ)
※タヌキの置物などグッズコレクションを展示



写真 8. 高知みらい科学館の押し哺乳類展示(ツキノワグマ)
※四国で最後に捕獲されたツキノワグマの剥製展示



写真 9. わんぱくこうちアニマルランドの押し哺乳類展示
(ニホンカモシカ) ※飼育の四国産カモシカの生態写真



写真 10. 特別講演会「四国の哺乳類をみつめて」(10/16)



写真 11. タヌキおじさんにおけるタヌキ講座(10/24)



写真 12. ナイトミュージアム(11/6)



写真 13. 特別講演会「あなたの知らない動物園のお仕事」(11/20)
※田村千明氏(愛媛県立とべ動物園)



写真 14. 特別講演会「あなたの知らない動物園のお仕事」②
※吉川貴臣氏(わんぱくこうちアニマルランド)



写真 15. 久万高原町役場ロビーで実施した移動展示



写真 16. 教育普及冊子「けものがたり」